

PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の取組について

1 平成31年2月豊田市PCB処理安全監視委員会における指摘事項とその対応について

(1) 東海地区 PCB 廃棄物処理計画と JESCO の PCB 廃棄物処理事業の状況報告について

前回の安全監視委員会では、東海地区 PCB 廃棄物処理計画と JESCO の PCB 廃棄物処理事業の状況報告との時点を揃え、比較しやすい資料とする。また、単位を記載する、未搬入量の内訳が使用中のものか、保管中のものか明らかにするといった御意見をいただきました。ついては、東海地区 PCB 廃棄物処理計画を別添のとおり作成しましたので、御報告いたします。

(2) 掘り起こし調査について

掘り起こし調査について、4県7市それぞれにおいて確実に進捗を管理していくことを改めて確認しました。

2 平成31年2月豊田市PCB処理安全監視委員会以降の広域協議会の取組について

令和元年8月5日に令和元年度第1回PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会を開催しました。概要は別紙のとおりです。

日時：令和元年8月5日（月）午後3時15分から午後5時まで

場所：愛知県庁本庁舎

議事：(1) 豊田 PCB 廃棄物処理事業の進捗状況等について

(2) 豊田市 PCB 処理安全監視委員会への報告について

(3) 北九州 PCB 廃棄物処理事業の状況報告について

(4) その他

○豊田処理物における今後の東海地区PCB廃棄物処理計画

【特措法届出・未登録、電事法届出・未登録、掘起見込量含む】

2019年6月末現在

区分		未搬入量(残存量)				処理計画(※8)				
		JESCO登録未搬入量(※1) (保管中・使用中)	特措法届出・未登録(※2) (保管中)	電事法届出・未登録(※3) (使用中)	掘起見込量(※4)	2019年度(令和元年度) 7月以降	2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	
変圧器類	台	222	176	24	0	22	126	82	14	—
コンデンサー類	台	6,393	5,862	263	136	132	4,030	1,632	731(※9)	—
廃PCB	本	704	259	445(※5)	—	—(※7)	166(※10)	310(※10)	228(※10)	—
	kg	2,576	—	2,576(※5)	—	—(※7)	0	1,288	1,288	—
保管容器	箱	1,191	1,191	—(※6)	—	—(※7)	568	617(※11)	6(※12)	—

【留意事項】

※1 JESCO登録未搬入量は、2019(令和元)年6月末現在、JESCOに登録があるが、未搬入の量を記載。【搬入ベース】

※2 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2018(平成30)年3月末データ)

※3 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2017(平成29)年3月末データ)※未更新のため昨年と同数値。

※4 各自治体で掘り起こし調査の実績等から処理年度ごとに算出。

※5 各自治体でJESCO登録情報と届出情報を突合し、JESCO登録がない数量を算出。

※6 容器のみの保管事例が少なく、届出情報から保管容器の抽出が困難なため計上なし。

※7 北九州地域の集計が無く、掘り起こし調査で発見されることが稀であるため計上なし。

※8 JESCO登録済みの未搬入廃棄物は、JESCOが把握している年度ごとの搬入予定量を計上し、JESCO登録が未だの廃棄物は、各自治体で処理年度ごとに配分。

※9 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定のコンデンサー260台は2021(令和3)年度に配分。

※10 大型金属容器7基に収納のPCB油について、2019(令和元)年度:2基(ドラム缶約85本分)、2020(令和2)年度:3基(ドラム缶約130本分)、2021(令和3)年度:2基(ドラム缶約78本分)に配分。

※11 泥状物が付着したスクラップ状ドラム缶547缶について2020(令和2)年度に配分。

※12 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定の保管容器4箱について2021(令和3)年度に配分。

別添

○(参考 平成30年度)豊田処理物における今後の東海地区PCB廃棄物処理計画【特措法届出・未登録、電事法届出・未登録、掘起見込量含む】

平成30年9月30日現在

区分	平成30年度当初の未搬入量					処理計画(※8)					
	未搬入量(残存量)の内訳					H30年度 (2018年度)	H31年度 (2019年度)	H32年度 (2020年度)	H33年度 2021年度	H34年度 (2022年度)	
	平成30年度当初 のJESCO登録 未搬入量(※1)	特措法届出・ 未登録(※2)	電事法届出・ 未登録(※3)	掘起見込量 (※4)							
変圧器類	350	270	49	0	31	実績:128 97	144	90	19	—	
コンデンサー類	13,396	12,608	466	136	186	実績:6,529 6,712	4,395	1,534	755(※9)	—	
PCB油類	本	857	456	401(※5)	—	—(※7)	実績:301 280	229(※10)	196(※10)	152(※10)	—
	kg	1,993.1	—	1993.1(※5)	—	—(※7)	0	664	664	665.1	
保管容器	1,586	1,586	—(※6)	—	—(※7)	—(※7)	実績:439 540	439	586(※11)	21(※12)	—

【留意事項】

※1 JESCO登録未搬入量は、H30年4月1日現在、JESCOに登録があるが、未搬入の量を記載。【搬入ベース】

※2 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年3月末データ)

※3 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年6月末届出)

※4 各自治体で掘り起こし調査の実績等から処理年度ごとに算出。

※5 各自治体でJESCO登録情報と届出情報を突合し、JESCO登録がない数量を算出。

※6 容器のみの保管事例が少なく、届出情報から保管容器の抽出が困難なため計上なし。

※7 北九州地域の集計が無く、掘り起こし調査で見られることが稀であるため計上なし。

※8 JESCO登録済みの未搬入廃棄物は、JESCOが把握している年度ごとの搬入予定量を計上し、JESCO登録が未だの廃棄物は、各自治体で処理年度ごとに配分。

※9 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定のコンデンサー289台は平成33年度に配分。

※10 大型金属容器7基に収納の処理困難PCB油について平成31年度:2基、平成32年度:3基、平成33年度:2基に配分。

※11 処理困難物である泥状物が付着したスクラップ状ドラム缶547缶について平成32年度に配分。

※12 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定の保管容器6箱について平成33年度に配分。

令和元年度第1回広域協議会議事録（概要）

1 豊田 PCB 廃棄物処理事業の状況報告等について

- JESCO から、豊田事業所の処理実績について報告があった。
 - 前回報告時から事故等による施設停止はなく、順調に処理が進んでおり、特段の質疑はなかった。
- JESCO から GPS システムを用いた緊急通報訓練の実施について、説明及び協力依頼があった。
 - 特段の意見はなく、10月4日（金）（雨天の場合は10月9日（水））に訓練を実施することとなった。

2 豊田市 PCB 処理安全監視委員会への報告について

- 前回の安全監視委員会の指摘事項を踏まえた東海地区 PCB 廃棄物処理計画（案）について説明し、承認を得るとともに、委員会で説明する旨を確認した。また、各州市の掘り起こし調査について、進捗を確認した。
 - 令和元年度の処理計画は、JESCO 豊田の処理能力の範囲内であることを確認した。
 - なお、昨年度の処理計画と比較し特措法届出・未登録の PCB 油類が増えているが、それらが処理困難物であった場合には処理が遅れることが想定されるため、所管自治体は必要な指導を行い、早急に成分確認及び JESCO 登録を行わせるべきとの注意喚起があった。

3 北九州 PCB 廃棄物処理事業の状況報告について

- JESCO から、北九州事業所の処理実績の報告及び令和元年度の処理計画についての説明があった。
 - 豊田事業エリアからの車載変圧器については、平成31年3月までに処理対象台数の100%の処理を完了した。

4 その他

- 各自治体が抱える課題について意見交換し、課題や対応策について共有を図った。